

# めのと



令和5年6月9日

長崎市立女の都小学校 校長 佐藤和幸

長崎県は5月29日に梅雨入りして以来、雨の日が多くなっています。子どもたちは運動場で遊べなかったり、蒸し暑かったり、逆に肌寒い日があったりしているので、梅雨明けを待ち望んでいるようです。しかし、もうしばらくは、雨の日が続きそうです。

一方、この季節、私たちの目を楽しませてくれるものがあります。校門のアジサイです。現在、きれいな青紫色の花をたくさん咲かせています。(ガクアジサイも青みがかかった白い花を咲かせています。)アジサイの花の色は、土の酸性度によって決まります。土が、酸性であれば青、中性であれば紫、アルカリ性であれば赤となるそうです。もうしばらくは、アジサイの美しさを楽しめそうです。



## 傘の準備は？

梅雨に入り、雨の日が多くなってきましたが、気になることがあります。それは、「傘」についてです。私は朝から児童玄関の前で子どもたちを迎えています。雨なのに、傘をささずに登校してくる子どもがいるということです。それも複数人。手に傘を持っている子どももいれば、傘を持っていない様子の子もいます。当然学校についた時には濡れています。暖かくなってきたとはいえ風邪などが心配になります。また、天気予報で雨の予報が出ていても傘を持ってきていないという子どももいます。学校の予備の傘を貸し出すこともありますが、たくさんあるわけではありません。予報になかった突然の雨の場合は仕方ありませんが、特にこの梅雨の時期には、傘の準備について、ご家庭でも声を掛けていただきますようお願いいたします。

## 時の記念日

6月6日(火)の全校集会で校長講話として「時間」について話をしました。誰にでも平等に与えられた「時間」をどう使うか。考えるきっかけになればと思います。

時の記念日は、今から1300年以上前、初めて時計を使って時を知らせたことを記念して、100年ほど前に作られた記念日です。(中略) 時間を守ることは大切であるということを広めるために決められたものです。(中略) 女の都小学校では、1日の生活が時間によってきめられていて、音楽やチャイムの合図を手掛かりにして、みなさんは、規則正しく生活することができています。

では、チャイムがない学校外の生活はどうでしょうか。チャイムがなくても、時間を決めて規則正しく生活している人はいるかもしれません。でも、友達との外遊びに夢中になって午後6時が過ぎていたとか、テレビやゲームなどをしていたら、いつの間にか長い時間がたっていたということはありませんか。帰る時刻が遅くなると危なかったり、長い時間テレビやゲームの画面を見続けているとみなさんの健康に問題が出てきたりするかもしれません。みなさんが安全で楽しく毎日を過ごすために、時間を意識して、みんなが同じように持っている24時間をどう使うのか、おうちの人と時間の使い方について話し合っ

ルールを決めるのもいいかもしれませんね。(6月全校集会 校長講話 抜粋)